

議会だより

No. 50 2017.11.1 発行

9月定例会

ますます、いよし。



伊予市

みんなで力を合わせて!

伊予市の財政状況は	2
委員会報告	4
一般質問 (8人が市政を問う)	6
きらきら・人 い〜よ	16

平成29年9月23日 伊予幼稚園運動会

まるわかり



そう！知りたかったのはそこ！

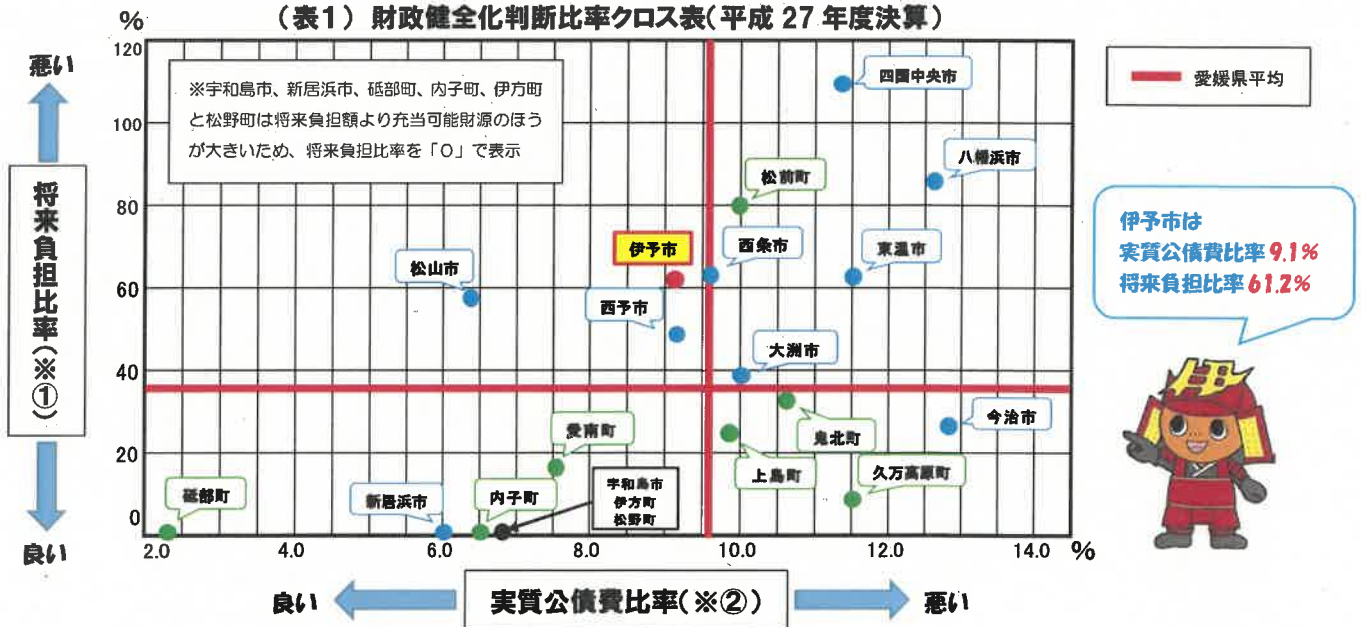
伊予市の 財政状況 は？

自分が住んでいる市の財政状況を知るとはとても大切なことです。ですが、「結局、市の財政って大丈夫なの…」と思うのが本音ではないでしょうか？ そこで、今回はおおまかなイメージで、近年における市の財政状況を捉え、伊予市の未来のためにどんなことができるか一緒に考えていきましょう！

1 愛媛県の中で伊予市の財政状況はどれくらいの成績なの？

愛媛県には、市と町合わせて20の自治体があります。下の(表1)は、伊予市の財政状況がどれくらいの位置にいるのかを示したものです。わかりやすくいえば、「**左下**」に行くほど優等生になります。これで見ると砥部町がダントツのトップで、伊予市は、ざっくり **中間あたり** に位置しています。

(表1) 財政健全化判断比率クロス表(平成27年度決算)



★ここで用語の解説!



※①将来負担比率とは？

自治体の財政規模に対して、どれくらいの負債(借金)があるかという数字です。わかりやすく言えば「**今の借金の額は身の丈にあってますか?**」というものです。ちなみに伊予市はこの比率が **61.2%**で、他の自治体と比べて若干高くなっています。

※②実質公債費比率とは？

自治体の財政規模に対して、借金返済額はどれくらいかという数字です。わかりやすく言えば、「**伊予市が自由に使えるお金のうち、どれくらいを借金返済に充てているか**」というものです。伊予市はこれが **9.1%**で、25%を超えると「**危険ゾーン**」となります。

2 成績はわかりましたが、本当はもっと重要なことがあるのでは？

下の(表2)を見てください。これは、直近4年間の収支を一覧表にしたものです。特に一番右端の「**実質単年度収支**」に注目してください。例えて説明します。皆さんのご家庭で、「今月ピンチだなあ」というときはどうされますか？もちろん切り詰めるのが一番ですが、どうしても必要な出費というのがあります。そんなとき、手元に貯金があれば、普通はそれを取り崩すと思います。この手持ちの貯金を取り崩して、今月の収支から差し引いたものが「実質単年度収支」と言われるものです。

(表2) 近年の伊予市の財政状況

(単位：千円)

区分	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出差引(C) (A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源(D)	実質収支(E) (C)-(D)	単年度収支(F)	積立金(G)	積立金取崩額(H)	実質単年度収支(I) (F)+(G)-(H)
平成28年度	19,036,471	18,078,953	957,518	182,285	775,233	△67,548	282	150,000	△217,266
平成27年度	19,681,833	18,547,893	1,133,940	291,159	842,781	248,011	1,004	433,000	△183,985
平成26年度	17,571,471	16,794,892	776,579	181,809	594,770	△47,835	1,144		△46,691
平成25年度	18,031,070	17,195,298	835,772	193,167	642,605	7,292	500,000	340,000	167,292

実質単年度収支は
3年連続の赤字！



伊予市の基金
(貯金)は？

★ここで疑問？

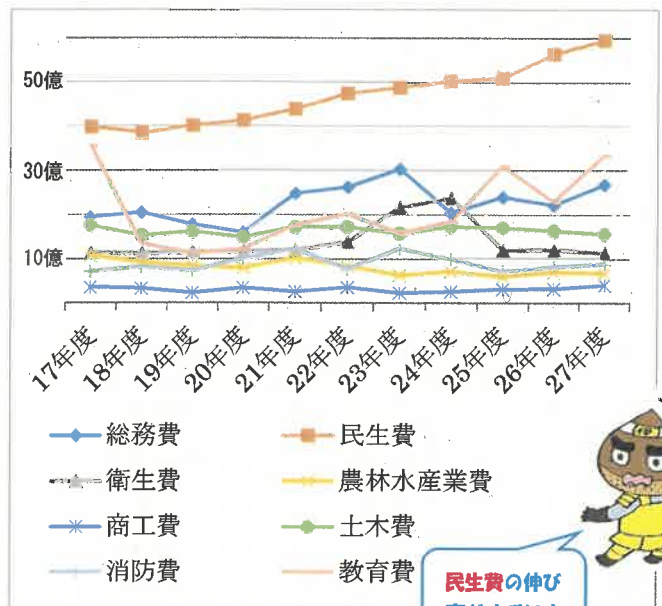
○「基金」ってどのくらいあるの？

27年度から29年度の3年間で約9億円を取り崩して23億円あった基金が29年9月末で**残高約14億円**となっています。(この額は29年6月補正予算で3億3,500万円取り崩した後の額ですが、実際の基金残高は29年度末に決定します)突然の災害等に備えるためにも、**17億円程度**は確保しておかなければなりません。

○何でそんなにお金がいるの？

右の(表3)を見てください。目的別に過去11年間の支出額を表したものです。市の支出は国の政策等によっても変わり、同じ項目でも年によって増減があります。ですが、ただ一つ、ずっと増え続けている項目があります。それが「**民生費**」です。その増加額はなんと**11年間で20億円**となっています。

(表3) 過去11年間の主な歳出(目的別)推移



民生費の伸び
率がすごい！



3 そもそも、「民生費」ってどんなお金？

一言で言えば**福祉にかかるお金**です。内容は「社会福祉費」、「児童福祉費」、「老人福祉費」が主なものです。この3つで民生費全体の約**90%**を占めています。伊予市ではこのうち「老人福祉費」を「社会福祉費」に含めているため「**社会福祉費**」と「**児童福祉費**」が**両横綱**です。

社会福祉費＝介護関連費、自立支援費、障害者福祉費、国民健康保険への支出など。

児童福祉費＝児童手当、保育所費、子ども医療費など。

*民生費の中にはそこで働く各職員の給与や報酬、施設費用なども含まれます。

4 終わりに・・・

市民として、税金がどのように使われているかを知るとも重要なことです。議会では、これからはしっかりチェックしていきませんが、同時に私たち一人ひとりができることもあります。例えば、適度な運動やバランスの良い食事を心がけて健康に努めることで民生サービス(医療費・介護費)の適正利用につなげるなど、小さなことから取り組んでいきましょう。

中村地区公民館浄化槽解体工事

解体工事費
115万6,000円

雨水等には利用しないことを決定

総務委員会

水道事業会計

問

今後の水道事業の見通しは。

答

水道課

前年度より給水人口は減少、給水戸数は増加しており、給水量と給水収益は微増となっている。供給単価160円29銭に対して給水原価は164円52銭と4円程度のマイナスの現状であり、今後、経年劣化に伴う施設の更新や耐震工事等を実施する必要があることから、上下水道料金の検討を行うための審議会を立ち上げる計画である。

問

広報区長研修助成金

減額に至った経緯と今回の研修の詳細は。

答 総務課

昨年度までは150万円を計上して先進地視察を実施してきたが、現在の財政事情の中、区長協議会において研修のあり方を協議していただいたところ、今年度は先進地から講師を招聘して研修会等を行うこととし、60万円に減額した。

住民基本台帳システム等改修委託料

問

業務の詳細は。

答 総務課

社会保障・税番号制度システム整備において、マイナンバーカード等の記載事項の充実を図るための改修に要する経費である。国からの通知を受け、希望申請によって旧姓を表示するシステム改修を実施するもので、金額国の補助である。

民生文教委員会

中村地区公民館
浄化槽解体工事

問

浄化槽を解体せずに、そのまま残して、雨水利用等に活用するという検討はなかったのか。

答

社会教育課

今回の決定にあたり、関係課とも協議をしたところ、雨水利用とする場合、それぞれのポンプ設置や各施設からの流れ込み等に対する周辺の施設修繕に要する経費は、解体した場合とほぼ等しかった。

そのまま放置することでも検討したが、施工業者から浄化槽自体が建物に接近しており、空で放置すると安全性の面からみて危険であるとの助言等もあり、検討した結果、埋め戻しにすることを最終的に決定した。



解体し、埋め戻しすることに決定した浄化槽(中村地区公民館)

保健センター
使用料等の減免

問

健康増進推進団体に登録すれば、使用料の減額が受けられるが、主な登録要件は。また、登録について団体への説明等を実施したのか。

答

健康増進課

登録団体は、原則健康増進に関する活動を行うことを主な目的とし、自主的な運営を行っていることが前提である。主な要件として、活動の拠点が市内であること、構成

年齢が概ね20歳以上であること、その団体の規約や前年度の事業報告、事業収支決算等を提出することなど、伊予市健康増進推進団体登録要項に基づく登録要件をすべて満たしていることが必須となる。

定期的に利用している伊予市保健センター管轄の14団体、双海保健センター管轄の2団体に対して、今年8月に説明会を実施済みで、今後は、必要書類等の提出を受け、健康増進課で審査した後、登録決定通知書を発行する手順となっている。また、要件さえ満たしていれば、新規団体でも登録は可能である。

産業建設委員会

**ウェルピア伊予
プール改修工事**

問

前回実施したプールの

改修時期とその耐用年数、また、工事予定時期は。

答 都市住宅課

20年度に国からウェルピア伊予の払い下げを受けたが、それ以降改修工事は実施していない。

プール床塗装工事は、ウレタン樹脂遮熱塗料塗り替えで耐用年数は5年から7年、新設の場合は10年間である。鉄部塗装工事は、ポリウレタン耐候性塗料塗り替えで耐用年数は2年、同様に新設の場合は5年間である。大型砂式ろ過機のろ材は、約5年ごとに、ろ過砂一



チューブスライダープール
塗り替え工事 (ウェルピア伊予)

部交換、約10年ごとに全部交換することが望ましいとされている。

工事は、プールの営業がすでに8月末で終了しているため、議決後、速やかに入札を行い、今年度末までの完成を考えている。

問

プールの利用状況と収入状況、また、プール運営における安全対策は。

答 都市住宅課

売り上げは、天候等に大きく左右されるが、28年度は4万7653人の利用で、2517万3220円の売り上げがあった。さらに売店等の売り上げは、例年約1000万円強ある。

プール管理業務仕様書に基づき、プールの監視は経験資格や技能を有する者、ウェルピア伊予が募集したアルバイト職員等を割り振って16名で実

施しているが、安全面を重視して、泳力・体力・技能のある職員を雇うように指導したい。

**上灘川河口堆積土砂
撤去工事**

問

工事の詳細と撤去した土砂の搬出先は。

答 農林水産課

工事は、海上運搬と陸上運搬の方法があるが、国道378号線には土砂を上げることができないため、土砂運搬船で運搬する方法により実施する。土量は業者による測量を実施し、ポリウレムの算出を行ったが、波の状況により変更があると考えられる。また、堆積土砂は、防砂堤崩壊等により流砂が生じている高野川海岸に運搬投入する計画である。

議案等議員別表決結果一覧表

[○:賛成 ×:反対 ※若松孝行議長は採決に入っていません]

平成29年第5回(9月)伊予市議会定例会
[会期:8月29日~9月20日 23日間]

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決日	
氏名	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野謙司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡十博	田中裕昭	武智実	久保榮	田中弘	若松孝行	水田恒二		
議決結果																					
議案第69号	平成29年度伊予市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
請願第1号	「憲法改正の早期実現を求める意見書」の提出を求める請願	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	9月20日

※総務委員会の採決結果は採択(本会議における採決結果は不採択)

一般質問

8人が市政を問う

9月定例会では、8人の議員が28件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは、全質問項目（下表）と質問した議員ごとに2問の質問を要約してお知らせします。なお、全文記録（議事録）は12月上旬に市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムに掲載しますのでご覧ください。

白 抜きの番号は掲載している質問です。

大野 鎮司 議員P8

- ① 小・中学校の教育環境について
- ② いろんな世代で楽しく健康づくりを
- 3 クラウドファンディングへの取り組みについて（パート2）
- 4 未来のことは、僕たち、私たちの手で（パート2）

水田 恒二 議員P9

- ① インターネット中継
- ② 四国新幹線構想に対する本市の姿勢を問う
- ③ 高レベル放射性廃棄物処分場
- 4 海岸線の陸開閉を問う
- 5 教員の労働過重と部活指導

北橋 豊作 議員P10

- 1 持続可能な本市農業・農村の実現に向けて（パート3）
- ② 図書館・文化ホール等の施工管理と運営について
- ③ 本市の緊急防災・減災対応について

川口 和代 議員P11

- ① 合併から12年、伊予市全体の行事の見直しを
- ② 伊予市の魅力をアピールするために
- 3 防災行政無線について

門田 裕一 議員P12

- ① タイムライン（防災行動計画）の策定を
- 2 災害に強い合併処理浄化槽の普及を
- 3 新たな住宅セーフティネット制度について
- ④ 本市のICT教育の取り組み

※通告順（発言順）に掲載します。

向井 哲哉 議員P13

- 1 市民の心の健康に対する本市の取り組みについて
- 2 自殺予防対策について
- 3 倒壊の危険がある家屋について

日野 猛仁 議員P14

- 1 消防・防災・安全の確保について
- 2 企業誘致に向けた取り組みを問う
- 3 伊予市の給与・定員管理と人材育成への取り組み状況について

田中 弘 議員P15

- 1 小学校の統合について
- 2 上水道地区の変更について
- 3 平成30年度当初予算編成について

※通告順（発言順）に掲載します。

愛顔つなぐえひめ国体を盛り上げるため、
9月議会最終日は、議員全員が国体ポロシャツを着用しました！



9月議会（最終日）の様子

いろんな世代で

楽しく健康づくりを！

大野 鎮司 議員



問

スマホを使った「うわじま健康マイレージ(うわじま歩ぽ)」を参考に、本市でも導入しては。

答

本市における事業の早期再開を目指す。

本市では、昨年度、ウェルピア伊予において、万歩計を活用した「いきいきウォーキング」の実証実験を行ったが、実施場所が特定されたため、参加者に地区の偏りがみられ、また、10代から40代の若い年齢層が極めて少ないという課題が残った。

現在、他市の実施方法を参考に、本市の地域性にあつた新たな取り組みを調査研究しているところであり、宇和島市の「うわじま歩ぽ」については、調査対象の一つとして事業内容等の検証を行っている。この「うわじま歩ぽ」は、スマホのアプリを活用した歩数計測と、スマホを所有して

いない方には、ポイントカードを発行する方式を採用し、幅広い年齢層と市内全域で参加している方がおられ、本市の課題を解決できる有効な取り組みと考えている。しかしながら、このシステム開発には多額の費用と時間を要するため、費用対効果や今後のスケジュール等の調整を慎重に調査研究していく必要がある。いずれにしても、本市における健康ポイント事業の早期再開を目指し、作業を早急に進めたい。



うわじま歩ぽ (パンフレット)

問

小・中学校の教育環境

新しい机(Aサイズ)の導入状況は。

答

できるだけ早い時期に統一したい。

16年に日本工業規格の最終改正があり、17、18年度において、郡小中学校以外の小・中学校に、Aサイズの新JIS規格の机を導入している。しかし、郡中小においては、11年度から15年度の間、旧規格の机を導入したばかりであったため、新規格への導入が見送られた。ただ、その後の機の補充は、新しい規格のものとしてしている。これを一挙に新しい規格の机、椅子の導入をする場合、約2600万円の費用が見込まれるため、財政状況を考慮しながら、できるだけ早い時期に統一したいと考えている。

問

松山市を参考に、PFI(※)事業でエアコンを設置しては。

答

さらに調査、検討が必要である。

現在、普通教室にはエアコンは設置されていないが、27年度に要望のあった教室にサイクル扇を設置したところであり、一定の効果は得られている。昨年の9月議会で質問をいただき、現在、各学校で、室温測定を行っている。その結果や優先的に取り組むべき老朽施設への対応といった財政面も考慮しながら、エアコン設置には、更に調査、検討が必要と考えている。ご提案のPFI事業による設置も効率的な手法であり、30度を超える真夏日が連続するなど高温化の著しい昨今の状況に鑑み、よりスピード感のあるリース制度の導入が図れないか、現在、関係企業等のノウハウを把握するなど検討を進めている。

(※) PFIとは？

民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して、公共事業を行う方式

高レベル放射性廃棄物処分場

水田 恒一 議員



問

国から「高レベル放射性廃棄物処分場の科学的特性マップ」が発表されたが、マップ上で示される本市の好ましくない特性があると推定される地域はどこか。

答 中央構造線、伊予断層、米湊断層周辺と推測される。

本マップは、縮尺が200万分の1で作成され、特性区分を大きく4種類に分類し、日本全土にどのような地層が分布しているかを俯瞰するためのものである。したがって、本市のどの地域が好ましくない特性があると推定される地域に該当するかは、マップ上で大まかに見るに留まるものと認識しているが、あえて示すならば、このマップに黄色で示されている箇所は、断層活動の地域である中央構造線や伊予断層及び米湊断層の周辺であると推測される。

問

今後、国の対話活動を受けるつもりがあるのか、また、どのような見解を持っているのか。

答 今後の議論を見守りたい。

今回のマップは、地層処分に関する科学的特性について一定の要件、基準に基づいて示されたものであり、現時点で国が最終処分場を特定の場所に決定したのも、各自治体に受入判断の是非を求めたものでもない。国は、今秋から説明会を開催し対話活動を行う予定であり、これは本市にとどまらず、国民全体の問題であるので、今後の議論を見守りたい。



問

インターネット中継 開かれた議会、市政を推し進めるため、議会のインターネット中継をと考えるが、予算化への考えは。

答 限られた財源で優先度に応じた適正配分を図りたい。

インターネットを介した映像配信は、民間事業者が提供する動画配信サービスを利用することが一般的で安価な手法とされている。

費用については、導入業者と詳細に協議する必要があるが、この新しい議場に備えているビデオカメラや音響システムをそのまま利用できる想定するならば、サービス業

者専用のインターネット回線の引き込み工事費用と動画の受け渡しができるパソコンの導入費用が初期導入費用として必要となり、さらにランニングコストとして、年間60万円程度の経費とインターネット回線使用料が必要となる見込みである。現在、市の財政状況が厳しいことは申し上げているが、議会の総意として必要との判断であれば、その他の事業予算同様に優先度に応じた財源の適正配分を図り、限られた財源の重点的かつ効果的な活用に努めたい。



9月議会最終日(理事者、議員ともに国体ポロシャツ着用で議会に臨みました)

図書館・文化ホール等の

施工管理と運営

北橋 豊作 議員



問

設計監理と施工管理どちらも重要だが、責任の所在を含め、施工業者とクライアント(市)との連携強化計画は。

答 設計意図の伝達と情報の共有化を図っている。

発注者の本市と施工業者、設計者の三者の連携が円滑な事業執行に対して重要であると認識している。そのため、週1回の定例会議や月1回の総合定例会議、また建築本体工事、電気機械設備等の分科会を開催し、設計意図の施工段階への継承と反映、三者の責任範囲と責任の明確化、工事施工段階に発生した条件変更時の対応など、各事案に関する協議や調整を的確に行い設計意図の伝達と情報の共有化を図っている。今後もさらなる工程、品質、出来形の管理連携に努め、質の高い施設の完成を目指したい。

問

総事業費における合併特例債・都市再構築戦略事業交付金の内訳と元利償還試算(計画)は。

答 元利償還計画は毎年約1億円を見込んでいる。

図書館・文化ホール等建設事業に係る周辺工事を含む総事業費のうち、合併特例債は、25億6000万円を、また、都市再構築戦略事業交付金は、17億5000万円を予定している。元利償還計画は、29年間の平均で毎年約1億円を見込んでいるが、合併特例



基礎工事の様子(29年9月1日撮影)

問

緊急防災・減災対応

債は、元利償還金の7割が普通交付税へ算入されるため、本市の実質負担額は、約8億7000万円となる。

地震等の災害時に対する各避難所の運営マニュアルはあるのか。

答 総合的な運営マニュアルを策定している。

個々の運営マニュアルは策定していないが、避難所運営に関し、総合的な避難所開設・運営マニュアルを策定している。これは、市担当者や施設管理者、避難者が、それぞれの立場から取るべき行動を理解し、三者が協力して円滑に避難所の運営が行われるよう、災害発生時の初期から避難所を閉鎖する撤収期までの4つのステージにおいてなすべき業務等を、それぞれの立場ごとに網羅的

問

に規定したものである。全体で42施設ある指定避難所の運営については、その施設を利用する地域の自主防災会が中心となってマニュアル化を進めることが有効と考える。よって、平時のうちに機会を捉え、地域住民、施設管理者と市がともに考え、取り決めていく仕組みの創出を検討したい。

8月18日に実施したJアラートの訓練結果は。

答 正常に訓練音声を放送することができた。

8月18日に実施された訓練において、本市は国から発信されたJアラートの信号を適切に受信し、防災行政無線を通じて正常に訓練音声を放送することができた。引き続き、設備類の維持管理を万全に行う一方で、市民から寄せられた意見を国に提供し、Jアラートの効果的な運用を支えたい。

合併から 12年

市全体の行事の見直しを！

川口 和代 議員



問

市少年相撲大会に中山、

双海地区の生徒にも参加させては。また、成人式の開始時間を着付け準備等のために遅らせては。

答

成人式は現行のまま実施する。

旧伊予市で始まった相撲大会は、合併後は、当然、中山、双海地区の各小・中学校にも参加を呼びかけている。大会前には、各学校の体育主任の先生方と大会内容の検討を行い、参加依頼を行っているが、参加申し込みがないのが現状である。成人式は、毎年午前10時30分から開始し、式典、軽食の立食パーティー後、12時にお開きとしている。この時間帯で終了すれば、新成人の皆様も、午後ゆとりを持って旧交を温める機会が得られるのではと考えている。このことから、午前中の式典が望ましいと考えており、現

時においては現行のスタイルで実施したい。

問

クリーン伊予運動の時期や時間を見直して、市民の負担を減らしては。

答

関係広報区長に意向調査を行って、検討したい。

この運動は、伊予地域だけの取り組みで、3連休の中日の朝8時からということもあり、参加人数が年々減少傾向にあることから、以前より実施日の見直しの声が上がっている。今回、地域のボランティア清掃という趣旨からも、実施日や時間



クリーン伊予運動の様子(森海岸)

を見直すには、地域の考えを把握することが緊要と判断し、関係広報区長に意向調査を行うこととしているため、その結果を踏まえて検討したい。

伊予市の魅力をアピールするために

問

節目の同窓会で、市をPRすることを条件に補助を出してみては。

答

金銭的な補助は現状では困難である。

同窓会に対する見方の角度を変え、故郷を顧みる機会と捉え、その席上で市のPRチラシやパンフレットの配布、プロモーション動画の上映は効果の高い取り組みと考える。よって、同窓会が数多く開催されているウエルピア伊予や花の森ホテルとも協議を重ね、ぜひとも実現に結び付けたい。ただ、定義付けの問題、

公平性、公益性の観点から勘案すると、金銭的な補助は現状では実施困難であると判断する。

問

ふるさと納税の寄附の状況と今後の対策は。

答

工夫を凝らして拡大を検討したい。

寄附の状況は、ふるさと納税制度が開始してから今年度8月31日現在の最新値累計は、寄附件数2712件、寄附金額6532万4000円で、実績で比較すると県下20市町中10位に位置している。

日本郵便株式会社との連携協力のもと、関係課との調整を図って、返礼品のさらなる開拓を進め、魅力が伝わる見せ方等にも工夫を凝らすとともに、今後は本市ならではの事業に対する寄附を募るなど、ふるさと納税の拡大を検討していきたい。

ICT教育の取り組み

門田 裕一 議員



問

プログラミング教育に対する本市の対応と認識は。

答

工夫して取り入れていけるよう情報提供等をした。

プログラミング的思考を育むことは大変重要なことであり、コンピューターに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けさせるための学習を行う必要があると認識している。プログラミング教育に対する具体的な対応については、新規の教科ではなく現行の各教科等の中で取り扱うことになっており、どの教科のどこで教えるかは、各学校の裁量に委ねられている。今後、プログラミング教育のねらいを踏まえつつ、また、具体的実践に向け文科省、総務省、経済通産省の連携した動きなどにも注視しながら、学校の教育目標や児童の

実態等に応じて工夫して取り入れられるよう、情報提供を行いたい。

問

ICT教育における支援と全国ICT教育首长協議会への参加を。

答

ICT活用能力の向上に努めている。

各学校の情報教育主任を中心とした計画的な校内研修の実施、県教育委員会や県教育研究協議会が主催する各種研修会への積極的な参加を促し、ICT活用能力の向上に努めている。全国ICT教育首长協議会における「自治体相互が連携を図り、先進的ICT教



額を寄せあってタブレットで協働学習する子どもたち(つくば市)

育の研究や教育の資質向上に必要なICT機器の整備及び制度改革を推進していく」という理念には、大いに賛同でき、機会があれば、市長にも意見具申をさせていただくことも考えている。

育の研究や教育の資質向上に必要なICT機器の整備及び制度改革を推進していく」という理念には、大いに賛同でき、機会があれば、市長にも意見具申をさせていただくことも考えている。

育の研究や教育の資質向上に必要なICT機器の整備及び制度改革を推進していく」という理念には、大いに賛同でき、機会があれば、市長にも意見具申をさせていただくことも考えている。

育の研究や教育の資質向上に必要なICT機器の整備及び制度改革を推進していく」という理念には、大いに賛同でき、機会があれば、市長にも意見具申をさせていただくことも考えている。

育の研究や教育の資質向上に必要なICT機器の整備及び制度改革を推進していく」という理念には、大いに賛同でき、機会があれば、市長にも意見具申をさせていただくことも考えている。

タイムライン(防災行動計画)の策定

問

本市における河川(重要水防箇所・ため池水防箇所)での防災行動計画の考えは。

答

県等の助言を求めて計画につなげたい。

特段の対応策は取っていないが、中山川と大谷川のほかには、水防団待機水位と氾濫注意水位といった定量的な判断基準がなく、時系列の対応を構築しがないという現実がある。今後、県などの助言も求めながら、必要に応じて、避難情報に関する判断基準の設定等

に努め、防災行動計画につなげたい。

問

茨城県常総市の「マイ・タイムライン」の取り組みを本市でも取り入れてみては。

答

関係機関と研究したい。

この取り組みは、市民が水害のリスクを認識し、逃げるタイミングなど自分の命を自分で守るために取るべき行動を時系列で整理しておく点で自助の取り組みとして評価できるものと考えられる。行政機関が整備するタイムラインとともに個人レベルのタイムラインが備われば「逃げ遅れゼロ」に向けた相乗効果が期待できる。現在進めている重信川の減災に関する取り組みや、これから、取り組みが始まる県の大規模氾濫に備えた減災対策の取りまとめの中で、関係機関とともに研究したい。

市民の心の健康に対する

本市の取り組み

向井 哲哉 議員



問

精神的に疲労している方等への相談及びケアの体制は。

答

専門性の高い相談事業を実施している。

保健センターで相談の受け付けやケアを行っているが、本人等からの相談があった場合はもちろんのこと、早期発見、早期対応を図るために妊婦への母子手帳発行、乳幼児健診などの面談時に、兆しがみられる方への見守りやサポート等に努めている。さらに精神科医師、精神保健福祉士による「こころの健康相談」を概ね毎月1回実施し、専門性の高い相談事業を実施している。

問

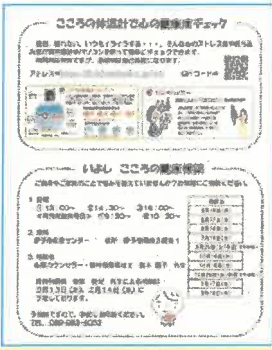
相談者と家族へのサポート体制は。

答

状況に応じた支援を行っている。

心の不調の状況に応じた対応が異なる。兆しのみられる方、経過観察が必要な方、統合失調症など専門医による治療が必要となる方などさまざま

なケースがあり、保健師が適時、本人や家族の抱える悩みに寄り添いながら、訪問や相談等の支援を行っているが、状況に応じて、医療機関、県保健所、社会福祉協議会や庁内関係課との連携により対応するケースもある。また、回復途上にある精神障がい者の方を対象に、社会への適正化を図るためのデイケアの開設や、家族同士が日ごろの悩みを話せる場として市内に2つある家族会に対し、必要に応じて学習



「こころの健康相談」パンフレット

会を実施するなどの支援を行っている。

自殺予防対策

問

現在、市が行っている自殺予防対策は。

答

自殺対策計画を策定する予定としている。

自殺予防対策は、28年3月に改正された自殺対策基本法において、各市町村において自殺対策計画の策定が必須となったことから、本市では、来年度策定する予定としている。本計画の策定にあたり、現行の取り組みと新たな取り組みの検討を行い、本市の実情に応じた自殺対策を総合的かつ計画的に推進したい。

問

ゲートキーパー養成講座の取り組みとフォロアップ体制は。

答

今年度は2回の講座の開催を予定している。

自殺は、健康問題や家庭問題だけではなく、失業、倒産、多重債務、長時間労働など社会的要因が複雑に関係していることを踏まえ、保健・医療・福祉等さまざまな視点からの支援が必要と考

える。このことから自殺の背景として最も多いうつ病やその他の精神疾患に関する正しい知識の普及啓発と自殺ハイリスク者を適切な相談窓口、支援につなげられる人材、いわゆる「ゲートキーパー」を養成するための講座を開設している。今年度は、日頃から地域の見守りや相談活動をしている民生児童委員や高齢者見守り員30人を対象に2回の開催を予定している。

ゲートキーパーへのフォローアップ体制として、キーパーの方がさらなる技能の習得と安心して実践ができるよう年度内や年度を越えて何度も受講できることとした。

企業誘致に向けた取り組み

日野 猛仁 議員



問

企業誘致の成果と今後の取り組み方針は。

答

全3区画の売り払いの処分が決定された。

伊予港埋立地の県有地約6万㎡は、全3区画の売り払いの処分が決定された。これまで県と連携を図り、さまざまな機会を利用してトップセールスを行ってきたことが刺激となり、地元企業の購買意欲の向上という成果に現れたと考えている。今後の方針は、現在、推進している下三谷工業団地地区の計画変更を先行させ、区画の面的一体的な整備を図り、企業から工場立地の要望が多く寄せられるようであれば、新たな工業団地の候補地調査を視野に入れる必要があると考えている。

伊予市地域の景気動向と県下の雇用情勢は。

答

収益性は高まっていると評価されている。

28年度に伊予商工会議所が実施した伊予市地域景気動向調査によると、景気回復とは言い難い状況にあるが、悪い中でも経営要素の改善が見られ収益性は高まっていると評価されている。また、県下の雇用情勢は、愛媛労働局が先月28日に発表した7月の県内雇用失業情勢によると、正社員有効求人倍率は1・04倍で16年の集計開始以来過去最高の水準となっている。松山公共職業安定所管内の数値は前年同月と比べて0・1ポイント上



売り払いの処分が決定された伊予港埋立地(湊町)

昇し、1・4倍となっている。

問

消防・防災・安全の確保

今後の消防団詰所の整備計画は。

答

年1棟のペースで39年度に完了予定である。

今後の整備計画については、全ての詰所の耐震化を図るため、昭和56年以前建設の旧耐震基準による詰所を年1棟のペースで更新し、平成39年度に完了する予定である。その後においては、地元からの要望があり、なおかつ、詰所の現状から判断して必要性が認められれば、建て替える方針である。

問

経費削減に向けた耐震補強と設計等を見直す考えは。

答

建て替えるほうが費用対効果が高い。

更新時期を迎える消防団詰所の構造は、木造の一部補強コンクリートブロック造が多く、耐震補強工事を行うことはできるが、総合的に勘案して耐震補強に比べて建て替えるによる耐震化のほうが費用対効果が高いものと判断している。

設計は、設計費を縮減する目的で4つのプランを準備しており、このプランから詰所部分の仕様を選んでいく。

また、1階に車庫、2階に詰所部分を配置しているが、これは建築面積をコンパクトにすることで敷地面積を抑えて、地元による用地確保の負担が少しでも軽減されるよう配慮したものである。よって、十分な面積の敷地が確保されればプランから外れるため、設計費が割高になることはあるが、平屋建てによる設計も可能と考えている。

佐礼谷小学校の統合

田中 弘 議員



問

中山地域では、少子高齢化が急速に進み、児童数や出生者の減少がみられる。保護者の中には佐礼谷小学校の統合を希望している方もいるが、統合に対する市の考えは。

答

地元住民の意見を聞き今後の展開を考える。

佐礼谷小学校は、本年度の児童数は16人であり、ここ10年で最も人数が多かったのは21年度の26人である。また、5年後の34年度には13人になると予想されている。

現在、1・2年生の複式、4・5・6年生の単学級で運営されており、少人数でのきめ細やかな学習指導と児童同士や教員との家庭的な人間関係により、一人一人が生き生きとした学級が構築されるなどのメリットもある。ただ、集団による一定の児童数のもとで成長をとげていくには、より

多くの児童の中で教育を受けさせたほうがよいとの考え方も否定できず、それは、保護者にも存在する。しかし、小学校は単に教育施設としてのみでなく、地域のコミュニティ活動や防災活動等の拠点施設の役割も担っているものと認識している。また、佐礼谷小学校は地域が総がかりで支援している学校であると捉えており、学校の持つ地域的意義を踏まえて、現在のところ統廃合は考えていないが、地元住民の意見を十分に聞き取りながら今後の展開を考えたい。



佐礼谷小学校 (中山地区)

上水道地区の変更

問

上水道地区の変更は水道法により難しいと思うが、同じ伊予市でも旧市町の違いによって上水道の利用ができない。高見、東峰地区において、上水道の利用はできないか。

答

整備手法を含め多面的に検討したい。

水道の給水には、上水道、簡易水道いずれも水道法により水道事業の経営認可を受ける必要がある。ちなみに、認可申請には、給水区域、給水人口、給水量など省令で細かく規定されている。

高見、東峰地区は、現在、水道事業給水区域として認可を得ていないことから、水道給水ができないため、お断りをした経緯があった。両地区に給水するためには、最も近い水道施設として、佐礼谷地区簡易水道事業が

あり、その認可内容は、平成4年6月時点で計画給水人口717人、1日最大給水量239m³、給水区域は、佐礼谷地区となっている。この水源は、中山川から取水することでの許可となっており、28年度末における実態は、給水人口596人、1日最大給水量232m³であることから、これ以上の区域の拡大や給水量の増量は困難と考えざるを得ない。また、この水源問題に並行して財源問題があり、近年の国の補助金カット、また、市の財政状況から大変厳しい現状がある。これらの問題と将来の維持管理費用の検討を行い持続可能な事業であるか否かを見極めなければならぬものと考えている。高見、東峰地区に限らず、未普及地域の解消を図ることの重要性は認識しており、整備手法を含め、多面的に検討していきたい。

東京のど真ん中からどうぞ

和田 薫子さん

伊予市に惚れ、
ずっと住みたい！

●伊予市に住むきっかけは？

会社の転勤で平成28年4月に下吾川に引っ越してきました。当時は蛇口をひねれば、みかんジュースが出てくるという都市伝説を信じていました。

●伊予市の印象は？

ビルがない、お店がない、夜に遊ぶところが少ない、電車が単線、無人駅がある、電車の本数が少ない、1両の電車がある…。



和田 薫子(わた のぶこ)さん

■プロフィール

兵庫県生まれ。幼少より引越しを繰り返しており、東京ドームの近所に住んでいたが、今年に入って伊予市へ引っ越してきた。

最初は東京とのギャップに驚くことも多かったですが、のんびりした雰囲気と人の好きさ、自然と触れるにつれ、伊予市が大好きになりました。東京ではビルの合間から見える小さな空しかなく、夕日を見ることはほとんどありませんでした。ここでは空が本当に大きいので、海に沈む夕日を眺めたり、星空を楽しんだり、打ち上げ花火の迫力を味わったり、本当に贅沢だと思えます。一面に広がる菜の花畑や、間近に飛び交うたくさんのお花畑、周りの方からいただく新鮮な野菜や魚、のんびり走る電車からの、の

どかな景色、毎日のちょっとした当たり前が、慌ただしい毎日の都会から来た私には新鮮で贅沢に感じました。

●伊予市で楽しかったことは？

伊予市には恵まれた自然を生かしたアクティビティがたくさんあり、楽しい体験をしました。

○パラグライダー

思っていたよりもスピードが出て、最初はとてもドキドキしましたが、慣れてくると鳥になったようでとても爽快でした。眼下に広がる景色が最初は木々、最後は海と楽しめるのでおすすめです。

○ブルーベリー狩り

大好物のブルーベリーが食べ放題なんて、夢のような体験でした。

○ピザ焼き体験

ピザ生地をこねて、形を作り、トッピング。自家製味噌のソースは、チーズやトッピングとの相性もバツチリ。ピザが焼けるまでの

おばちゃんのおしゃべりや自分で絞るみかんジュースも最高でした。

●今後の夢・目標は？

東京のど真ん中育ちの私だからこそ「伊予市の魅力」を全国に発信できると思っています。

伊予市に来て、マラソン大会に出場したり、海辺を自転車で走ったり、体を動かす機会がたくさん増えました。いつか双海のトライアスロンにもチャレンジしたいです。今後は、この経験を生かして観光振興や宣伝事業、観光モデルコースの策定に携わっていきたくらいなと思います。



海辺を自転車で走ることが日課になりました！

編集後記

9月議会の真ただ中、大型台風が県内を襲いました。大きな被害が出た地域もあり、被害に遭われました市民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

私たち議員は、市民に安心して住んでいただけたために時代に合わせた防災対策を提案して参ります。今回の特集は、市民が一番不安に思っている「財政」について深く、そしてわかりやすく特集を組んでおります。市政は厳しい時代を迎えておりますが、常に前を向き、発展的な市政運営ができるように取り組まなければなりません。全ては市民の皆様のためです。

文責 平岡清樹

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 大野 鎮 司
- 副委員長 平岡 清 樹
- 委員 森川 建 司
- 委員 吉川 俊 介
- 委員 川口 和 代
- 委員 向井 哲 哉
- 委員 門田 裕 一